

令和5年2月 上市町教育委員会 定例会 議事録

日 時 令和5年2月20日（月）午前9時00分～午前10時21分

場 所 上市町役場3階 第5会議室

1 開会

2 教育長の報告

卒業式での新型コロナ対応について報道されているが、先日、文部科学省より通知されたところであり、それに沿った形で対応をしていく。教職員、児童・生徒は基本的にはマスクを外し、保護者はマスク着用となるが、合唱などでは児童・生徒もマスク着用となる。一方、4月からはマスク着用は自己判断となるため、入学式でも同様となる。

2月16日に令和5年度町予算大綱が発表となった。給食費については、令和6年度以降の財源確保がまだまだ不透明であることから、まずは令和5年度の無償化となった。

3 教育委員会定例会 会議記録の報告

4 議事

（1）令和5年3月議会に提出される予定の議案に関する意見について

〔説明〕

令和5年度当初予算、上市町学校教育審議会条例制定の件、上市町立学校施設の開放に関する条例一部改正の件、令和4年度3月補正予算について説明

（委員）

魚津市など、新年度予算で保育料の第2子からの無償化が行われるとの報道があった。財源のこともあるが、保護者負担がなく預けやすくなるのであれば、企業としても人員確保の面から助かるのではないか。

（委員）

地域学校協働活動推進員配置事業について、14歳の挑戦など地域や事業所との連携を図るとのことだが、もう少し詳細を説明いただきたい。

— 推進員には、国が進めるコミュニティスクール構築の中で、学校運営協議会のほか、PTAや教育後援会などの事務、14歳の挑戦などの連携事業を担っていただくことで教員の事務軽減が図れるものと考えている。また部活動の地域移行に伴い、来年度から学校での部活動は活動場所を校内に限定すること、地域クラブに加入する生徒が放課後に校内で体力トレーニングを行うことから、部活動を含めた生徒の活動の見守りも合わせて担当いただくこととしている。

（委員）

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーと学校との連携も必要と感じているが、このように外部専門家とつなぐ役割はできないものか。

- 国補助事業であり、推進員の役割は限定されていることから、そのような業務を担うことはできないものと思われる。

(委員)

中学校の放課後学習室について、生徒からも時間を延ばしてほしいとの声がある。

- 令和5年度当初予算において、中学校施設の工事請負費に放課後に学校との分離を図るためのシャッター設置の予算を計上している。これにより、これまでよりも放課後学習室の開設時間を延ばせるものと考えている。

(委員)

保護者の方から、塾などで英語を習わせたいが金銭的な余裕もないとの声がある。

中学校の放課後学習室で英語も教えてもらえないものか。

(委員)

放課後学習室は基本的な学習習慣を身につけてもらうことを目的として設置しているものであり、塾などのようには出来ないと思うが、学習の質問にはある程度答えることはできるのではないか。

— 承認 —

(2) 学校のあり方について

前回同意いただいた「これからの学校教育を進めるための小中学校のあり方」について、文書校正をし、最終確認したもの

— 承認 —

5 報告・その他

(1) 総合教育会議について

本日の開催を予定していた総合教育会議については、町長から議題としてヤングケアラーの件を協議したいとの申出があり、担当部署である福祉課との事前協議や資料作成のための期間が必要であることから、次年度の5月に開催をすることとした。

6 閉会